

# 第6学年外国語活動学習指導案

6年1組 指導者 寺内 健

## 単元(題材) “Welcome to My city.” 「道案内をしよう」

資質・能力
①活用できる知識・理解
②自ら問題を見付ける力・解決する力
③根拠をもとに筋道を立てて考える力
④自分や仲間の考えを聞き直す力
⑤様々な角度から自分の考えを創り出す力
⑥自分の思いや考えを分かりやすく伝える力
⑦仲間の考えを受けとめる力
⑧仲間の考えを求めめる力
⑨自分の学びを見つめ直す力
⑩自分から学びに向かうとする力
⑪人間性(感性、達成感など)に関すること

### 1 単元(題材)について

本学級の子どもたちは、Lesson1「Do you have “a” ?」において、店や公共の施設を英語で表現することに慣れ親しんできた。Lesson2「When is your birthday?」、Lesson3「I can swim.」では、自分の誕生日や自分のできることを伝える表現に慣れ親しみ、表現を使って会話をし、互いのことを知り合うことができた。このような子どもたちが、身近な場所や施設の表現の仕方を知り、道案内をする活動に取り組む。このことは、相手の言いたいことを注意深く聞いて理解しようとしたり、自分の言いたいことを伝えようとしたりしながら、相手と積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育むことにつながるであろう。

本単元は、身近な場所や施設への行き方を尋ねたり伝えたりする表現に慣れ親しみ、道案内をできるようにする学習である。子どもは、道案内をするために必要な表現に慣れ親しみ、学んだ表現を道案内に活用していくであろう。その際、子どもが身近な場所や施設への行き方を尋ねる表現や、案内するための動作や方向を表す表現を何度も聞いたり話したりする活動を大切にしたい。そうすることで、子どもは、目的地への行き方を尋ねたり伝えたりする表現を自信をもって対話に活かし、案内したい道を選んだり、右や左、真っ直ぐといった動作を表す表現を自在に使ったりして、積極的にコミュニケーションを図ろうとすると考えたからである。

そこで、以下のような支援を具体化したい。

- 導入において、ALTと道案内のデモンストレーションを行う。そうすることで、道案内に必要な表現を知り、見通しをもって学習に取り組むことができるようにする。
- 学校周辺の場所や施設を会話の中で使用したり、学校での会話の場面を設定したりする。そうすることで、身近な場面設定に興味をもって、仲間と積極的に会話することができるようにする。
- 毎時間の振り返りでは、できるようになったことを記述している子どもを見取り、価値づける。そうすることで、互いの自己の変容を共有することができるようにする。

### 2 目標

- 身近な場所や施設への行き方を尋ねたり伝えたりする表現を活用して、身近な場所や施設を案内することができるようにする。
- 相手の思いを注意深く聞いて理解しようとしたり、自分の思いを伝えることの楽しさを感じたりすることができるようにする。

### 3 評価規準

知識・技能(知)	思考・判断・表現(思)	主体的に学習に取り組む態度(態)
○身近な場所や施設への行き方を尋ねたり伝えたりする表現に慣れ親しんでいる。	○身近な場所や施設への行き方を伝えたり、正しく聞き取ったりするための工夫を考えている。	○身近な場所や施設への行き方が相手に伝わるよう工夫して言おうとしたり、友達の道案内を注意深く聞こうとしたりしている。

### 4 指導計画(全4時間)

- 第1次 道案内するために必要な表現を知る (1時間) 【本時1 / 1】
- 第2次 目的地への道のりの尋ね方や方向や動きを指示する表現に慣れ親しむ (2時間)
- 第3次 仲間同士で道案内をする (1時間)

5 本時案 【平成29年 6月15日 14:05~14:50 6年1組教室】

(1) ねらい ALTと担任との会話を聞いたり身近な場所や施設の表現の仕方を知ったりして、道案内するために必要な表現に気付くことができるようにする。

(2) 学習過程

学習活動／子どもの意識	支援
<p>① あいさつをする (5分)</p> <p>学習内容 ・互いの様子を聞こうとする態度(態)</p>	<p>○ALTと道案内の場面を演じて見せ、気付きを問う。そうすることで、道案内に必要な表現や意味に気付くことができるようにする。</p>
<p>② デモンストレーションを見て気付きを交流する (15分)</p> <p>学習内容 ・道案内に必要な表現への気付き(態)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>メリッサ先生と寺内先生の会話を聞くのか。何を話すのかな。</li> <li>寺内先生が外国からの旅行者役だね。メリッサ先生がザビエル記念聖堂までの行き方を教えるのだね。</li> </ul> <p>Excuse me. Where is Xabiel memorial church?</p> <p>You are here. Go straight. Go straight. Turn right. Go straight. Go straight. Turn left. Go straight. Go straight. Turn right. Go straight. You can see Xabiel memorial church.</p> <p>どんな英語が聞こえましたか?</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Go straight. って聞こえたね。これは「進む」かな。</li> <li>RightとかLeftって聞こえたね。右や左を示すのだね。</li> <li>Turnが付いていたよ。Turnって向きを変えるの意味なのだね。</li> <li>You can see...って聞こえたね。着いたという意味なのだね。</li> <li>道案内の仕方を覚えて、上手に道案内できるようになりたいな。</li> </ul>	<p>○デモンストレーションの際、ALTの案内に従って担任が地図上に置いたマグネットを動かす。そうすることで「右に曲がる」「左に曲がる」「進む」の動きを視覚的に捉えることができるようにする。</p> <p>○ALTの表現の後に続いて発音したりゲームや体を動かしながら発音する場を設定したりする。そうすることで、正しい発音で何度も練習ができるようにする。</p>
<p>③ 表現を練習する (15分)</p> <p>学習内容 ・行き方を伝えたり聞き取ったりするための工夫(思)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地図の中には隠れている場所があるね。</li> <li>学校周辺には図書館があるね。libraryっていうのだね。</li> <li>消防署や美術館もあるよ。言い方もメリッサ先生に教えてもらったよ。案内するために周りの場所を言えるようになりたいな。</li> <li>地図の中に隠れていた場所をメリッサ先生と何度も言うのだね。</li> <li>次はゲームをするよ。キーワードが聞こえたら手をたたくのか。</li> <li>学校周辺の場所を聞いたり言ったりできるようになってきたよ。</li> </ul>	<p>○自己の変容について記述している子どもを見取り、価値づけることで、互いの変容を共有し次時からの学習を意欲的に進められるようにする。</p>
<p>④ 道案内についての振り返りを交流する (10分)</p> <p>学習内容 ・道案内に必要な表現方法(思)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>左や右に曲がる、真っ直ぐ進むなどの英語を知れたね。</li> <li>道案内に必要な英語が言えるようになると、上手に道案内ができそうだよ。次の時間もたくさん話していきたいな。</li> </ul>	

6 板書計画



